

令和 7 年 4 月 18 日
(※受付番号)

大阪市総合教育センター
教育振興担当 実践研究グループ
首席指導主事様

研究コース
A グループ研究A
校園コード（代表者校園の市費コード）
731660

代表者	校 園 名：	東粉浜小学校
	校 園 長 名：	校 長 津 田 毅
	電 話：	6672-0313
	事 務 職 員 名：	松 谷 水 穂
申請者	校 園 名：	大阪市立東粉浜小学校
	職 名 ・ 名 前：	教 頭 三 好 和 彦
	電 話：	6672-0313

令和7年度「がんばる先生支援」申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	A グループ研究A	研究年数	継続研究（2年目）
2	研究テーマ	「自分の考えを表現し、深めようとする子どもを育む」 ～見方・考え方を働かせた対話とふりかえりの充実～			
3	研究目的	テーマに合致した目的を項立てして記載してください。 1 「自分の考えを表現し深める力」＝「練り上げる力」を育成するために、児童が自己や他者などとの互いの考えを比べ、話し合いを通じて学びを深めるためにどんな見方・考え方を働かせるべきかを明らかにした指導方法を研究し、質の高い対話的な学びを目指す。 2 児童の学びの深まりを見取るとともに、児童自身も学びを深めることができるようにふりかえりを充実させることも大切であると考え、評価について明らかにする。			
4	研究内容	(1)研究内容の詳細 ※継続研究2年目以降は1年目の記載をコピーして貼付する ①個別最適な学びのために ○1人1人に応じた指導の個別化を図る（自分の考えを持つ＝対話の土台をつくる） 意図的なグループ編成やヒントカード、ワークシートの工夫を行ったり、自由進度学習や一人学びの時間を取り入れたりすることで誰もが自分の考えを持つことで対話を行えるような土台作りを行う。 ②協働的な学びのために ○対話の活性化を図る（練り上げる力） 思考ツールを活用し子どもの考えを可視化したり、共同編集や話し合い活動を工夫したりすることで、対話が活性化し協働的な学びが充実することを図る。 ③一体的な充実のために ○ICTの効果的な活用を行う G o o g l eスライドやG o o g l eクラスルームなど汎用的なアプリを使って（低学年の場合はS k y M e n uでも可）、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実することを図る。 ④情報活用能力の育成のために ○毎日の端末持ち帰りを行う クラスルームを連絡帳として活用したり、Teamsのリーディングコーチを活用して音読の宿題を出したり、日常的にタイピング入力する機会や情報モラルの学習を行ったりするなど日常的に端末を使う必要性を作ることで、情報活用能力を向上させる。 (2)継続研究〔2年目〕 ※継続研究3年目の場合は、2年目の記載をコピーして貼付する 【成果】自分の見方・考え方を広げ深めようとする態度が育成された 【課題】調べた情報を基に考えをまとめたり、質問を通じて考えを深めたりする力 ○前年度より継続して取り組むこと 汎用的なクラウド、アプリを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ○本年度より新たにに取り組むこと 見方・考え方を働かせた対話とふりかえりを中心とした評価の方法について (3)継続研究〔3年目〕			

研究コース
代表校園

A グループ研究A
東粉浜小学校

代表校校園コード
校園長名

731660
校長 津田 毅

5	活動計画	<p>日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。</p> <p>4月・研究全体会 研究テーマ、研究の進め方、見込まれる成果、年間計画等について 共通理解を図る。 ・ICT研修会（Google classroom, Teams, skymenuの操作方法的研修を行う） ・児童アンケート、教員アンケートをフォームズで実施、分析。</p> <p>5月</p> <p>6月□研究授業1年 国語科】（指導案検討会・研究討議会） 【研究授業6年 国語科】（指導案検討会・研究討議会）</p> <p>7月□北海道教育大学附属小学校 視察 教科・領域研修会 1学期分の研究授業指導案校閲</p> <p>9月□研究授業4年 社会科】（指導案検討会・研究討議会）</p> <p>10月□研究授業年 国語科】（指導案検討会・研究討議会） ・LDXS指定校の視察</p> <p>11月【研究授業5年 社会科】（指導案検討会・研究討議会）</p> <p>12月□研究授業2年 生活総合科】（指導案検討会・研究討議会） 2学期分の研究授業指導案校閲</p> <p>1月【がんばる先生 全市公開授業 3年】 【研究推進委員会】児童アンケートの実施・分析</p> <p>2月・筑波大学附属 研究発表会参加（来年度の研究についての示唆） 【研究推進委員会】 ・学力経年調査の結果分析 ・教員アンケートの実施・分析 ・がんばる先生支援報告書作成・提出 【研究推進委員会】研究のまとめ作成</p> <p>3月【研究全体会・全体研修会】次年度へむけて、本年度の成果と課題の共通理解</p>
		<p>出張を伴う研究会への参加、外部講師を招聘する研修会の実施等、経費執行が必要な取組内容を記載してください。</p> <p>・LDXS指定校の研究会に参加し、情報収集した内容を研究に反映させる。 ・国立大学附属小学校の研究会に参加し、得た知見をもとに研究を深め、全市発表で発表するとともに、来年度の研究などに生かす。 ・授業研究会の指導助言 講師：大学教授 年1回実施</p>
6	見込まれる成果とその検証方法	<p>(1)継続研究（2年目、3年目）において検証方法の変更の有無を記入してください。</p> <div><input type="checkbox"/> 変更しない。<div>理由 研究の視点を焦点化し変更したため。</div></div> <div><input checked="" type="checkbox"/> 変更する。</div>
		<p>(2)大阪市教育振興基本計画に示されている、「<u>子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力</u>」の育成および、「<u>教員の資質や指導力</u>」の向上について、それぞれ見込まれる成果を端的に記載し、その成果について客観的な指標により、必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。（いずれかに<input checked="" type="checkbox"/>を入れてください）</p> <p>【見込まれる成果1】</p> <div><input checked="" type="checkbox"/> 「子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力」の育成</div> <div><input type="checkbox"/> 「教員の資質や指導力」の向上</div> <p>理解した情報や感じたこと、想像したこと、形成した考えなどをまとめ、言葉を通じて表現しあい、自己や他者を尊重しようとするとともに自分のものの見方や考え方を広げ深めようとするようになる。</p> <p>《検証方法》</p> <p>学習の振り返りの中で、自分が考えたこととその理由を説明することができるようになったり、友だちの考えを聞いて自分の考えに付け足したり新しい考えを見つけたりすることができたと肯定的な意見をもつ児童の割合を8割以上にする。</p> <p>【見込まれる成果2】</p> <div><input type="checkbox"/> 「子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力」の育成</div> <div><input checked="" type="checkbox"/> 「教員の資質や指導力」の向上</div> <p>児童が対話を通して、考えを深めることができるような主体的・対話的で深い学びの推進を図る。</p> <p>《検証方法》</p> <p>研究発表会で研究の成果を発表し、指導助言者による指導助言並びに参会者からの意見、感想などをいただくことで、その検証を行う。また参会者にアンケートを実施し、研究に対しての肯定的な意見を8割以上にする。</p>

6	見込まれる成果とその検証方法	<p>【見込まれる成果3】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 「子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力」の育成</p> <p><input type="checkbox"/> 「教員の資質や指導力」の向上</p> <p>情報端末の基本的な操作や、問題解決・探求における情報活用、情報モラルなどの情報活用能力向上に取り組む。</p> <p>《検証方法》</p> <p>年度初めと終わりに情報活用能力についてのアンケートを取り、情報端末の基本的な操作技術や、問題解決・探求における情報活用能力、情報モラルについての理解などについて肯定的な意見をもつ児童の割合を8割以上にする。</p>						
7	研究成果の共有方法	<p>◆研究発表【必須】 報告書提出日までに必ず行ってください。</p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table><tr><td>日程</td><td>令和 8 年 1 月 末 日</td><td>場所</td><td>東粉浜小学校</td></tr></table> <p>◆【必須】 waku^x2.com-bee掲載による共有</p> <p>○掲載の日程（予定）</p> <table><tr><td>日程</td><td>令和 7 年 2 月 末 日</td></tr></table> <p>◆他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p>	日程	令和 8 年 1 月 末 日	場所	東粉浜小学校	日程	令和 7 年 2 月 末 日
日程	令和 8 年 1 月 末 日	場所	東粉浜小学校					
日程	令和 7 年 2 月 末 日							
8	代表校園長のコメント	<p>1. 新規研究（1年目）</p> <p>すでに一人一台学習者用端末の活用や持ち帰りは、日常化、定着している。今までは「まずやってみる」であったが、今年度はより学びを深めるための有効手段として活用していかなければならない。すでに取り組んできた成果を学校として系統的に整理し、一人ひとりの学びの補助となるよう授業を工夫していく本研究に取り組むことで、よりしっかり自分の考えを持ち、他者と交流することで考えを深化・充実させることができるようにしていく。</p> <p>2. 継続研究（2年目）</p> <p>一人一台学習者用端末を授業で日常的に活用するとともに持ち帰りもすることで、「令和の文房具」として誰でも簡単に使えるように学年で系統立て指導育成してきた。その結果、各自の考えを集団の中で比較検討したり共有したりすることで、より深い学びへとつなげるようになってきつつある。その成果を踏まえて、今年度はさらに、個人が持つ考えを集団の中で共有し、発表し合い、より良いものへ昇華するという、自分の考えを「深める」「練り上げる」ということに焦点を当て研究を深め、学校全体でさらなる授業力向上に努めていく。</p> <p>3. 継続研究（3年目）</p>						